



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No.28-91

(2017.3.31)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL.03-5202-7671 FAX.03-3278-7048

URL <http://www.scbri.jp> e-mail : [s1000790@FaceToFace.ne.jp](mailto:s1000790@FaceToFace.ne.jp)

## さわやか信用金庫の目利き力強化のための「企業先視察研修」

森本 龍雄

### ポイント

- 東京都に本店を置くさわやか信用金庫は、平成29年1月24日に「企業先視察研修」を開催した。
- 同研修の開催目的は、若手職員の現場感覚の養成である。同金庫職員の年齢構成をみると、20代の若手が急速に増えており、若手職員の早期育成・戦力化が課題となっていた。
- 研修の事務局は、同金庫の人事研修部と子会社の(株)さわやかリサーチが共催で務めた。
- 当日は若手職員24人(男性21人、女性3人)の参加を得、同金庫の取引先3社(ストラパック(株)(横浜工場)、(株)マテリアル、(株)北嶋絞製作所)の製造現場を視察した。
- 同金庫では、同研修を通じて、若手職員が優良な製造現場を実体験できたと評価する。参加者からは、『工場(現場)を見ることの大切さを再確認した』などの感想が聞かれた。
- 今後も同様の実践型研修を企画しており、29年5月には第2弾の企業先視察研修を開催予定である。

### 1. 「企業先視察研修」について

#### (1) 問題意識

東京都に本店を置くさわやか信用金庫は、平成29年1月24日に「企業先視察研修」を開催した。

同金庫職員の年齢構成をみると、20代が営業店の半数を占めるなど、若手職員の比率が急速に高まっている。そのため、若手職員、なかでも現場の最前線で活動する若手渉外担当者の早期育成・戦力化が課題となっていた。

こうしたなか同金庫は、若手職員の現場力の強化のため、モノづくり職人の集団である製造業の取引先を訪問し、生きた現場感覚を習得する実践的な育成研修「企業先視察研修」を開催することとした。

#### (2) 研修の概要

同研修は、同金庫人事研修部と子会社の(株)さわやかリサーチによる共催である。視察先との調整などの企画立案については、同社が全面的に担当した。

受講対象は、入庫4年目以上の総合職職員で、性別は問わない。本人の参加意思に加え、職場でリーダーシップの発揮が求められる職員から、部門長が推薦する形とした。

企業視察先の3社(ストラパック(株)、(株)マテリアル、(株)北嶋絞製作所)は、同金庫の重要取引先であると同時に、わが国を代表する製造業とされる。今回の研修では、優良な取引先を視察することで、日常業務では得られない経験を提供する狙いがあった。

(図表1) 研修の概要

(概要)	(スケジュール)
研修名：企業先視察研修	目黒支店に集合
日 程：平成29年1月24日(火)	(貸切バスによる移動研修)
視察先：①ストラパック株式会社(横浜工場)	09:00 ストラパック(株)視察
②株式会社マテリアル	11:00 (株)マテリアル視察
③株式会社北嶋絞製作所	京浜島支店(昼食等)
④大手飲料メーカー	14:00 (株)北嶋絞製作所視察
対 象：①入庫4年目以上の若手総合職職員	16:00 大手飲料メーカー視察
②本人の意思で受講を希望し、部門長が推薦する職員	情報交換会
③職場でのリーダーシップの発揮が求められる職員	品川駅で解散
人 数：20人	

(備考) さわやか信用金庫資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 2. 当日の流れ

当日は、24人の若手職員（男性21人、女性3人）の参加を得て同研修が開催された。また、同金庫本部スタッフや同社社員なども事務局・アドバイザーとして同研修に参加しており、総勢40人近くとなった。

参加者は同金庫目黒支店に集合、貸切バスによりストラパック㈱（横浜工場）を視察した。同社は、梱包機器などの製造を行っており、国内外で高いシェアを有する。次に㈱マテリアルを視察した。同社では製造マシンの視察に加え同金庫も協賛する「下町ボブスレー」の実機を見ることもできた。

昼食後の午後からは㈱北嶋絞製作所を視察した。同社は一枚の金属板から立体の製品を製造する国内有数の技術を有し、航空機やロケットなどの部品を取り扱う。最後に大手飲料メーカーを視察、参加者による情報交換会の後、品川駅で解散となった。

## 3. 評価等

同金庫では、同研修の開催を通じ、若手職員が優良な製造業の現場を実体験できたと評価している。若手職員の目利き力やコンサルティング能力を向上させるためには、真に優れた製造業の活動に触れる必要がある。モノづくり企業に対する関心の高まりにも期待している。

同金庫および同社では今後も同様の実践型研修を企画しており、29年5月には第2弾の企業先視察研修を開催予定である。

また、同研修に参加できなかった若手・中堅職員への情報還元を含め、別途、2月15日の「営業エリア別勉強会」（城南エリアの店舗を対象）で研修報告を行った。他エリアでも同様の勉強会を開催し、ノウハウ等を共有していく予定である。

### <参加職員の感想等>

- 座学ではなく実際の現場を視察することで、新たな気付きや製造現場の雰囲気を感じ取ることができた。
- わが国を代表するモノづくり企業の製造現場を視察でき、工場（現場）を見ることの大切さを再確認した。
- 現在、製造業の取引先を担当していないが、今回の研修では中小製造業を支援する信用金庫の重要性を再確認することができた。モノづくりへの興味も高まった。
- 視察した3社とも5Sが行き届いており、また、社員教育の大切さを感じた。取引先企業を訪問する際、今回の視察内容などを還元したい。
- 3社目の北嶋絞製作所では、実際に絞り技術を体験できた。自ら体験してみることで目利き力の向上につながったと思う。

（図表2）ストラパック株式会社（横浜工場）

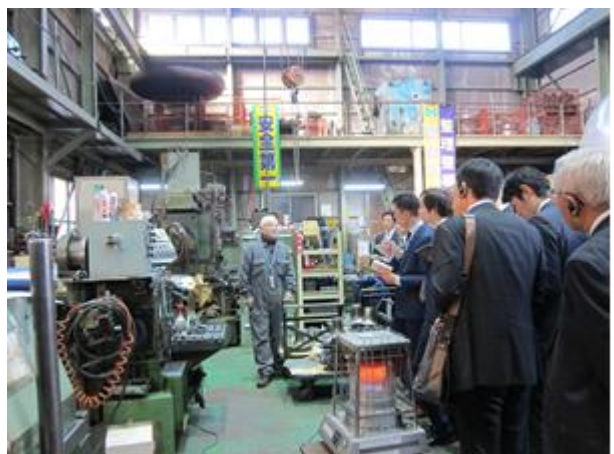


（備考）図表2～4まで信金中央金庫  
地域・中小企業研究所撮影（29年1月24日）

（図表3）株式会社マテリアル



（図表4）株式会社北嶋絞製作所



以上